

武道の型を仕組んだ県下唯一の傘踊り

### 大島の傘踊



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	おおしまのかさおどり
所在地	笠岡市大島中
指定年月日	昭和51年3月27日
解説	大島地区に伝えられた盆踊り。男女2人1組となり、傘を刀に見立てて斬り合うように踊るのが特徴。「大島音頭」にあわせて、武道の型を仕組んだ「出踊り」「忍び」「斬り合い」の三種類の型を順に、素朴かつしとやかで優雅に踊る。起源については、戦国時代に大島の領主であった細川通董（みちただ）公の百回忌墓前祭が貞享3年（1686）に行われた際、夕立にあい、刀の代わりに雨傘を用いて踊ったことが始まりと伝えられる。県下で唯一の傘踊りである。
アクセス方法	JR笠岡駅からバス乗時・寄島線「竹田」下車、徒歩5分
公開状況	開催日：8月14日 / 開催場所：大島中学校校庭
設備	駐車場  トイレ 
備考	毎年、「大島地区ふれあい納涼の夕べ」で踊られています。

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	大島の傘踊
よみかた	おおしまのかさおどり
しょざいち (所在地)	笠岡市大島中
していしたひ (指定した日)	昭和51年3月27日
せつめい	男女2人が1組となって、傘を刀のように使って踊(おど)るのが特徴(とくちょう)です。大島音頭(おおしまおんど)にあわせて、刀で斬(き)り合うように3種類(しゅるい)の踊りを順に、ゆっくりと踊っていきます。岡山県で唯一(ゆいっ)の傘踊りです。